鹿島小だより

第５７号　平成３１年１月２１日（月）発行　文責：鈴木
【電話】0244-46-2240【ホームページ】https://minamisoma.fcs.ed.jp
平成３０年度重点目標「話し合おう　やってみよう」

学力テストに挑む

南相馬市内の各小・中学校では、学力テストが行われました。本校では16日(水)に国語、17日(木)に算数のテストを実施しました。これは、今の学年の2学期までの学習内容をどのくらい理解しているかを確認するためのものです。毎年4月に小学6年生と中学3年生を対象にして行われる全国学力・学習状況調査でも言われることですが、福島県の児童生徒は、無答率が全国平均より高いという結果が出ています。これは、回答欄に何も書かないまま提出するのが多いということです。問題が難しかったり解答までに時間がかかったりすると、面倒になってあきらめてしまう比率が高いのです。たとえ答えが分からなくても、何も書かなければ部分点ももらえません。今回の学力テストでは、子どもたちは最後まであきらめずに、粘り強く問題に取り組むことができたでしょうか。テストの結果が届くのは約1か月後です。

給食で韓国料理を味わう

給食では、県内はもちろん全国各地の郷土料理が出されます。また、世界の各国を代表する料理も出てきます。17日(木)には、韓国料理が食卓に並びました。この日の献立はビビンバ丼、わかめスープ、ぽんかん、牛乳でした。韓国の料理は、豊富な野菜や魚、肉をバラエティーあふれる香辛料で味付けしており、健康面でも優れています。どうしても辛いというイメージがありますが、給食では子どもたちが食べやすいように調理されています。ビビンバの「ビビ」は“混ぜる”、「バ」は“ご飯”という意味で、日本で言えば五目ご飯のようなものです。韓国の子どもたちも、大好きな料理の一つだそうです。おいしい韓国料理をみんなでいただきました。

《裏面もご覧ください》

インフルエンザの流行広がる

県内では、インフルエンザの流行が拡大しています。16日(水)付けの福島県感染症発生動向調査週報によると、県内の1定点医療機関当たりのインフルエンザ患者数は、警報レベルとなる30人を超え32.27人になりました。同患者数は相双地区で44.33人（前週の2倍以上）、いわき地区で37.23人となり、浜通りでは県全体のレベルよりも急速に流行が広がっています。同様に郡山市、県南、会津地区も警報レベルになっています（福島市、県北、県中、南会津地区は注意報レベルです）。保健だよりや鹿島小だよりでもお知らせしましたが、学校での感染拡大を防ぐためにも、一人一人が健康管理に気を配るとともに、罹患してしまった場合には早めに医療機関を受診し、ゆっくりと体を休めてください。保護者やご家族の皆さんも、ご自身の体調に十分ご注意ください。

祝・ホームページアクセス数６万回超！

いつも本校のホームページをご覧いただき、本当にありがとうございます。皆さんがたくさん見てくださっているおかげで、これまでのアクセス数が延べ6万回を超えました。心から感謝いたします。一年の中で今が寒さの一番厳しい季節ですが、これからも鹿島小学校の子どもたちの様子を紹介していきますので、どうぞお気軽に本校のサイトへお立ち寄りください。